

3月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

R3. 2. 26 文京区立本駒込幼稚園



感謝の1年間

園長 原田幸子

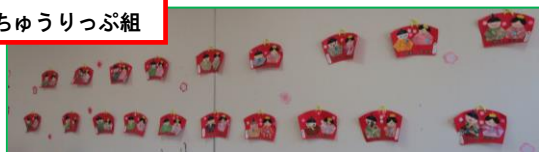
自然園のメダカたちは、冬の間は水草の下に潜り、姿を見せませんでした。だんだんと水面近くを泳ぐようになり、春の訪れを知らせてくれています。登園時に、親子で一緒に水の中を覗き、「かわいいね！」とつぶやいているほのぼのとした光景は、幼稚園時代ならではの幸せな一時です。緊急事態宣言中ではありますが、無事に毎日開園できていることに、感謝の念でいっぱいです。保護者の皆様も、毎日登園できることへのありがたさを感じていらっしゃることも、幼稚園評価で高い評価をいただいたことから、よく分かりました。1年前は、これほど長くこの感染症と向き合うことになるとは、想像できませんでした。これからも、幼稚園と家庭で力を合わせ、最大限感染予防に努め、子どもたちが元気に過ごせるようにしてまいります。

自分で考え、行動し、友達や先生と心を通わせながら幼稚園生活を楽しみ、この一年間で子どもたちは大きく成長しました。2月の誕生会で、年長組が、担任からの幼稚園に関するクイズに答えていた時の出来事です。担任が「幼稚園のうんていの棒は何本でしょうか？」という問題を出すと、Aさんは「Bさんは、うんていをたくさんやっていて上手だから、Bさんと同じ答えにしよう」とつぶやき、Bさんと同じ答えを出していました。さすが年長児です。この姿から、普段から友達のがんばりやよさを認め合って生活していること、正解を導き出すための方法を自分なりに考えていることが分かり、頼もしさを感じました。

年中児、年少児も自分の気持ちを伸び伸びと表すことができるようになりました。キラキラした瞳で、夢中になって遊びを楽しむ姿は、とても素敵です。

今年度も残すところ1か月です。明るく、優しい子どもたちが、自信をもって就学、進級できるよう、一日一日を大切にしたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様には幼稚園教育にたくさんのご支援、ご協力をいただきました。厚くお礼を申し上げます。

ちゅうりっぷ組



すみれ組



さくら組

